

令和8年度 嘉麻市教育委員会 生涯学習課事業計画表(案)

【人権・同和教育係】

令和 8 年 度 事 業 計 画											
番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	実施目標	実施時期/回数	事業内容	前年度からの課題	課題解決に向けての対策(どのような方法で)	主な事業予算	関連事業(関係機関)
1	6 人権尊重精神を育成する教育の推進	(2)社会教育における人権・同和教育の推進及び支援	① 人権・同和教育推進事業	地域等での人権・部落問題研修会及び子ども向けの人権学習	行政区、団体・サークル、企業等の人権・部落問題に関する学習を推進し、地域社会や職域などにおいて、人権尊重の涵養を図ります。 市民を対象に各地区公民館において人権・部落問題についての研修会を行い、日々の暮らしや住民の自然な会話の中から人権意識の広がりを図ります。 子どもたちを対象に人権について学ぶ機会を確保し、人権問題についての正しい認識と理解を深めます。	4月1日～3月31日 地域等での研修会開催数(26回/年) パネル展等の研修会の開催(1回/年)	研修会の実施にあたっては、視聴覚教材などを活用し、人権・部落問題について考えるきっかけを提起し、自らの偏見や差別意識、忌避意識を見直すとともに、正しい認識と理解を深める学習の場とします。 地域等で実施する人権・部落問題研修会については、地域のニーズ等に応じた研修内容を実施します。 各地区公民館で行う人権・部落問題研修会については、各地区公民館と連携を図り実施します。 子どもたちを対象とした学習会については、生涯学習課が実施する事業の中で実施するとともに、小・中学校で行っている人権学習にゲストティーチャーとして積極的に参加します。	高齢化等により地域住民によって構成された行政区やサークル団体等の減少により、人権・部落問題研修会の開催回数が減少傾向にあります。人権部落問題研修会を開催していただけるよう、積極的に働きかける必要があります。 各審議会等においても、人権・部落問題研修会の開催を促す必要があります。 社会状況の変化に応じた個別の人権課題及び地域のニーズに合った研修内容となるよう工夫改善に努める必要があります。	行政区長会を所管する総務課等と協議・連携を図り、人権・部落問題研修会を開催し、人権について考える機会を持っていただけるよう、働きかけを行います。 各審議会等を所管する課等々に人権・部落問題研修会の開催を積極的に促していきます。 また、人権・同和教育指導員については、研修会参加や教材研究等でスキルアップを図り、人権研修の充実に努めます。人権・部落問題への関心を高める研修内容の工夫改善を図るため、資料作成や教材の検討を行います	【報償費】 講師謝礼 240千円 【旅費】 普通旅費 12千円 特別旅費 1,335千円 【需用費】 消耗品費 148千円 食糧費 3千円 【委託料】 62千円 【備品購入費】 291千円	・各地区行政区長 ・総務課 ・総合窓口課総務係 ・小・中学校 ・市人権・同和教育研究協議会
2	6 人権尊重精神を育成する教育の推進	(2)社会教育における人権・同和教育の推進及び支援	① 人権・同和教育推進事業	事業主人権・部落問題研修会	市内事業所の事業主を対象に人権・部落問題研修会を開催し、事業所内全体の人権感覚が高まっていくよう目指します。	4月1日～3月31日 (1回/年) (69事業所)	飯塚公共職業安定所と共催で実施し、関係部署とも連携・協議しながら、市内事業所の事業主等を対象に外部講師等による人権・部落問題研修会を開催します。	関係部署と連携・協議し、より多くの事業所に参加していただけるような研修会にしていく必要があります。	開催通知に加え、各庁舎へのポスター掲示及びホームページ等、様々な媒体を活用し、より多くの事業所に参加していただけるよう周知を図ります。	【負担金補助及び交付金】 負担金 173千円 補助金 1,000千円	・人権・同和对策課(共催) ・飯塚公共職業安定所
3	6 人権尊重精神を育成する教育の推進	(2)社会教育における人権・同和教育の推進及び支援	② 人権・同和教育推進少年団体育成事業	解放子ども会	解放子ども会活動を通じて、差別を許さず、差別をなくしていくこととする子どもの育成を支援します。	4月1日～3月31日 運営委員会参加(2回以上/年) 学習内容協議への参加(11回/年) 解放子ども会への参加(32回/年)	部落差別をはじめあらゆる差別をなくすることを主たる目的として活動する団体が企画運営する解放子ども会事業について、嘉麻市解放子ども会事業補助金交付規程に基づき補助金を交付します。	補助事業の目的及び内容となっているか、注視し、また事業展開が子どもたちの部落問題学習の深まりとなっているか、継続して支援を行う必要があります。	補助事業計画・内容について精査し、補助金交付を行います。 さらに事業展開については小・中学校と情報共有を図り、子どもたちの人権学習が深まる活動となるよう助言等の支援を継続していきます。	【負担金補助及び交付金】 3,000千円	・部落解放同盟嘉麻市協議会 ・小・中学校
4	6 人権尊重精神を育成する教育の推進	(2)社会教育における人権・同和教育の推進及び支援	③ 人権・同和教育推進団体育成事業	解放学級	社会の変化に伴い多様化する厳しい差別の実現に打ち克つ力を身につけるため、一人ひとりが継続して自ら気づき、考え、行動する力を培う学習活動を学校と協力して支援します。	4月1日～3月31日 解放学級(7学級) 合同学習会(1回/年)	各地区において自主的に計画した人権学習を月1回実施します。 開講式、合同学習会等を実施することで、共に学び合い、お互いの理解と心の繋がりを深めます。	学級生の自主的・主体的な学習活動を引続き支援し、学級生のニーズに応じた学習内容となるよう工夫・充実を図る必要があります。 学習の機会を持つとする意識になるよう働きかけ、学びの継続に繋がるよう支援する必要があります。 地域の協力を得ながら、学級生の拡大を図る必要があります。	学習計画を学級生と共に話し合い、学校と協力しながら地域のニーズの掘り起こします。 共に学びあいや繋がりを深めることへの理解を深めるために地域に参加の呼びかけをしていきます。	【報償費】 講師謝礼 570千円 【需用費】 消耗品費 48千円 燃料費 19千円	・地域住民 ・小・中学校
5	6 人権尊重精神を育成する教育の推進	(2)社会教育における人権・同和教育の推進及び支援	③ 人権・同和教育推進団体育成事業	識字学級	日常生活において文字の読み書きに不自由している人の読み書きを学ぶ場と学ぶ機会の確保を図り、活動を支援します。	4月1日～3月31日 識字学級(1学級)	週1回識字学級を開催し、学校と協力して文字の読み書き学習を支援します。 また、自主学習においては、学習内容が異なるため、分からないところは質問できる雰囲気づくりを支援していきます。	学びを継続することで、生きることへの自信や喜びに繋がるよう支援する必要があります。	学級生の自主学習活動を維持するため、学校と協力し、学びの継続となるよう、学習内容の工夫を行います。	【使用料及び賃借料】 600千円	・小・中学校